

◎ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- ▶ [岐阜大学医学部](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

◎ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 令和4年度岐阜大学外科同門会を開催しました。

令和4年度岐阜大学外科同門会を開催しました。

投稿日：2022年8月 8日 (月)

2019年4月に岐阜大学高度先進外科 (旧第一外科) と腫瘍外科 (旧第二外科) が統合し、一つの外科学となりました。昨年に引き続き、本年8月7日にZoomを用いたWeb形式にて岐阜大学外科同門会を開催いたしました。

当日は旧第一外科、第二外科より140名を超える大変多くの先生方に御参加いただきました。



開会の挨拶

鳥袋 勝也 先生 (旧第一外科医局長)

司会

高橋 孝夫 先生

御挨拶

林 勝知 先生 (新同門会長)

堀部 廉 先生 (次期新同門会長)

土井 潔 先生 (心臓血管外科教授 同門会顧問)

吉田 和弘 先生 (岐阜大学長)

松橋 延壽 先生 (次期消化器外科・小児外科学分野外科教授)

広瀬 一 先生 (旧第一外科 名誉教授)

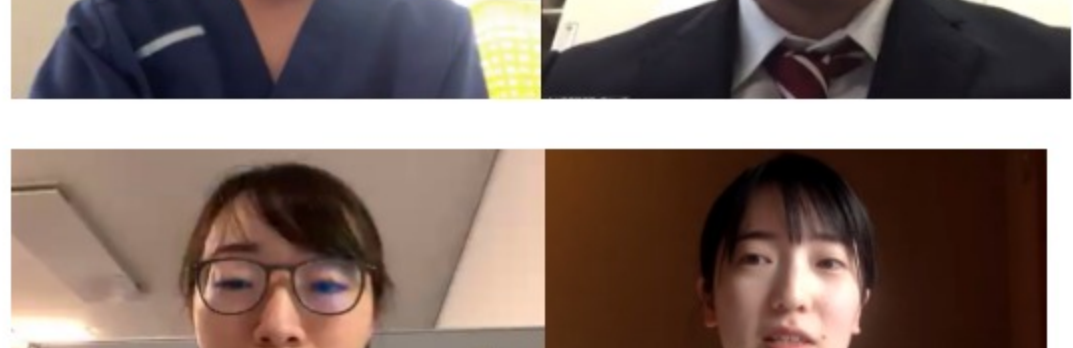
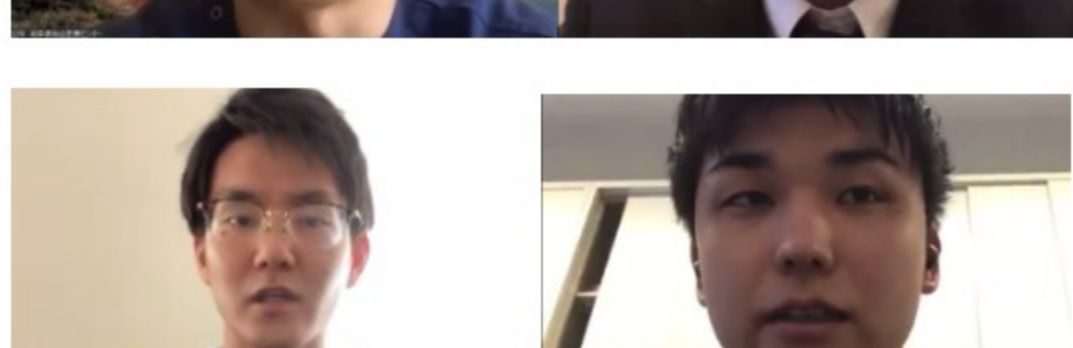
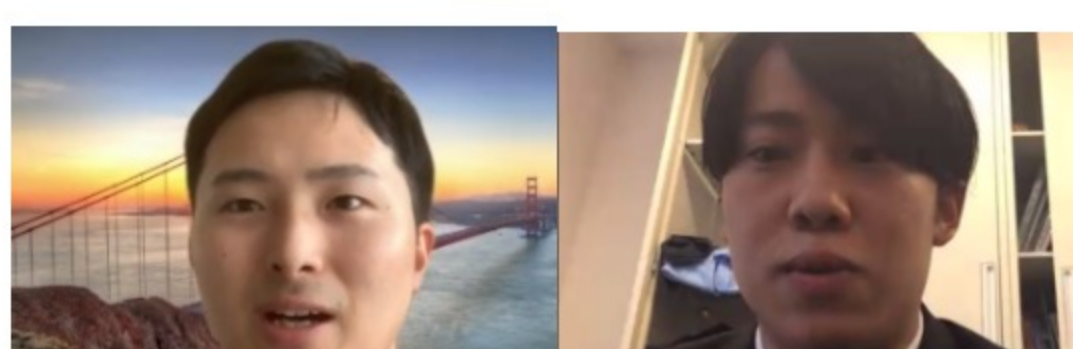
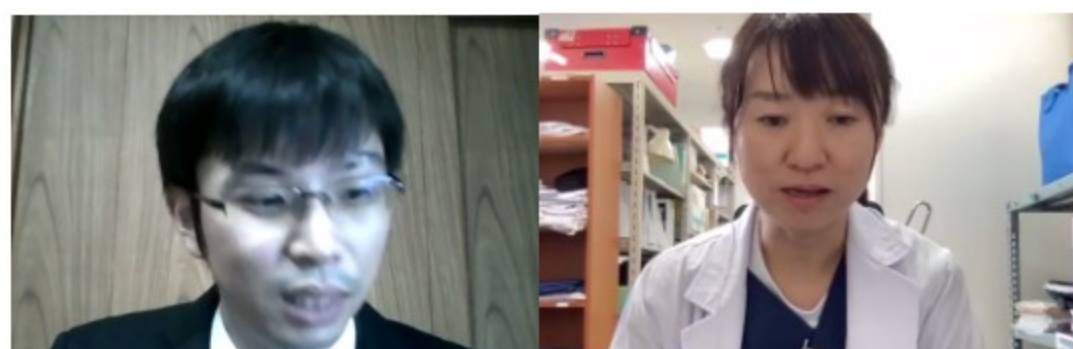
佐治 重豊 先生 (旧第二外科 名誉教授)

岩田 尚 先生 (呼吸器外科教授)

二村 学 先生 (乳腺外科教授)

新同門会員自己紹介

今年度新たに入学していただいた計8名の新同門会員の先生方に抱負をお話していただきました。(伊藤吉貴先生、王 蓓先生、井上優汰先生、加藤尚能先生、佐藤優行先生、武藤碧先生、高井一輝先生、福田 萌先生)



同門会員ご挨拶

関連施設の代表 (岐阜県総合医療センター 河合先生、岐阜市民病院 佐々木先生、岐阜赤十字病院 林先生、金山病院 須原先生、郡上市民病院 片桐先生、中部国際医療センター 山口先生、美濃病院 坂本先生、多治見市民病院 加藤先生、高山赤十字病院 佐野先生) の先生方に近況報告をしていただきました。

閉会の挨拶

奥村 直樹 先生 (旧第二外科医局長)

岐阜大学外科は、医局員一同、密に連携をとりながら、今後も県民の皆さまの健康を守り、最高の医療をご提供できるよう努力いたします。

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 第77回日本消化器外科学会総会企画「シミュレーション選手権」において、畑中勇治先生所属チームが優勝しました。

第77回日本消化器外科学会総会企画「シミュレーション選手権」において、畑中勇治先生所属チームが優勝しました。

投稿日：2022年7月26日（火）

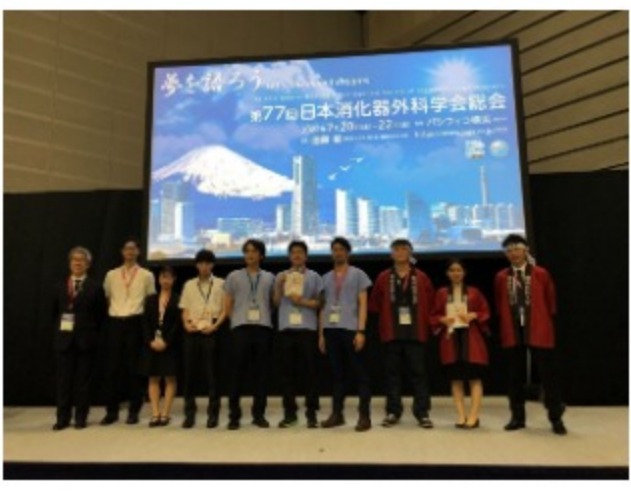
「シミュレーション選手権」は第77回日本消化器外科学会総会の特別企画のひとつとして開催されました。



本企画はチーム対抗戦（3名1チーム）で、全国から計30チームが出場しました。競技内容は、① ドライボックス(縫合結紮)② ラップメンター(腹腔鏡手術のシミュレーター)③ ロボティクスメンター(ロボット手術のシミュレーター)の3競技をそれぞれ1名ずつが担当し、それらの合計タイムで競う方式でした。



畑中先生は同年代の他県他施設の先生たちとチームを組んで参加されました。ドライボックス(縫合結紮)の種目を担当し、見事優勝されました。閉会式では本学会長である横浜市立大学遠藤格教授より表彰していただきました。





ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ✉ 岐阜大学医学部
- ✉ 岐阜大学医学部附属病院
- ✉ 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- ✉ 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 『5G通信を活用した4K映像伝送システムとリアルタイム字幕解説を併用した医療者教育における遠隔授業の実証実験』を行いました。

『5G通信を活用した4K映像伝送システムとリアルタイム字幕解説を併用した医療者教育における遠隔授業の実証実験』を行いました。

投稿日：2022年6月28日（火）

2022年6月23日、『5G通信を活用した4K映像伝送システムとリアルタイム字幕解説を併用した医療者教育における遠隔授業の実証実験』を行いました。これは岐阜大学消化器外科、岐阜大学工学部、岐阜大学医学教育開発研究センター、および株式会社 NTT ドコモが共同で開発した、4K映像伝送システム「LiveU（ライヴユー）」と「リアルタイム字幕生成ソフト」を用いた、医学生に向けた手技教育の5G配信システムです。消化器外科医が縫合・結紮・腸管吻合手技を実演した4K映像を「LiveU」から5G回線を介して伝送します。この映像を受信した別の外科指導医が副音声解説を自動で字幕化し映像に追加、別教室や自宅にいる学生へリアルタイム配信する、新たな授業スタイルの実証実験です。



本実験により、コロナ禍で失われた教育機会の補填が可能となるばかりでなく、将来的には遠隔手術・医療支援へ応用できる可能性を秘めています。翌6月24日（木）には中日新聞と岐阜新聞で紹介されました。



◎ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)


同門会発行
辛夷


胃がんとは
 MOVIE


外来化学療法
 って何？


術後GISTの
化学療法


ASCO2013
 ~Late Breaking Abstracts~


ASCO2015
 ~special session : Global Oncology Symposium~

-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > AR/VRを活用した学生教育の取り組みが、朝日新聞に掲載されました。

AR/VRを活用した学生教育の取り組みが、朝日新聞に掲載されました。

投稿日：2022年5月31日（火）

当科で行っているAR/VRを活用した学生教育の取り組みが、2022年5月29日の朝日新聞に掲載されました。

以下に掲載された記事を紹介します。

朝日新聞デジタル > 記事

教育現場に広がる仮想空間 先生はアバター、バーチャルで得る没入感

有料会員記事
浦島千佳 2022年5月28日 20時00分

シェア ツイート ブックマーク スクラップ プレゼント メール 印刷



ヘッドマウントディスプレイをつけ、講義のデモンストレーションをする名古屋大学の長尾隆教授。ディスプレイに映っているのが仮想空間で、長尾教授のアバターが立体模型を使って脳の構造を説明する＝名古屋市千種区の名大

ネット上の仮想空間である「メタバース」への関心が強まる中、東海地方でも関連技術を教育に用いる動きが始まっている。国立大学法人 東海国立大学機構が運営する名古屋大と岐阜大は、教育の質を高めるために、授業でVR（バーチャルリアリティ＝仮想現実）の技術を活用するなど、身近な現実空間に「仮想」が広がつつある。

東海地方発のおすすめニュースが読める「東海ニュースレター」の登録はこちら
→

ポイントは「没入感」

ゴーグルのようなヘッドマウントディスプレイ（HMD）をつけると、そこはコンピューターグラフィックスでつくった仮想の大講義室だ。アバターと呼ばれる教員の「分身」が、脳の立体模型を空中で回し、分解するなどして、構造や各部位の役割を説明する。

この「仮想講義」のシステムを開発したのは名大大学院の長尾隆（かたし）教授（情報学）の研究室。長尾教授が代表取締役を務める大学発ベンチャー「サイブテクノロジー」が製品化し、昨年度に名大の一部の授業で試験的に導入した。学生からは「現実の大講義室での授業より先生が近くに感じられる」など、おおむね好評だったという。

ポイントは没入感だ。新型コロナの流行で、オンライン講義が導入されるようになったが、余計なものが目に入らないこともあり、仮想空間は動画より集中しやすいという。VR講義での立体模型は拡大や分解ができ、「より理解が深まる」と長尾教授は言う。

講義はあらかじめ収録されたもので、学生は好きな時間にログインし、視聴できる。「障害や病気など、様々な理由で現実のキャンパスに来づらい人はいる。VRでいつでもどこでも教育が受けられる社会をめざしたい」と話す。

手術のシミュレーションも

コロナ禍では学生の孤独感も問題になった。「サイブテクノロジー」は、実験装置を仮想空間に再現。操作しながら使い方を学ぶ「VR実験システム」も製品化し、名大工学部での導入準備を進めている。学生のアバター同士が近づくと会話もできるため、コミュニケーションによる学習意欲の向上も狙う。

岐阜大も昨年度、VRで透過型電子顕微鏡の使い方を学ぶアプリを開発した。現実では見えない装置内側の仕組みも再現し、学生の理解を助ける。同工学部の大矢豊教授（材料化学）は「説明書より直感的に学ぶことができる」と、「仮想」で学ぶ意義を語る。

医学の世界では、VRを以前から教育に活用してきた。医療従事者や医学生の研修・研究施設である名大 メディカル xRセンターは、2000年代前半からVR手術シミュレーターを導入。画面を見ながら手術機器を操作する内視鏡手術は、特にVRと親和性が高いという。

昨年度に導入した機器は、HMDをつけてバーチャル手術室に「没入」する。藤原道隆・同センター長は「医学生の診療現場における外科の実習は手術の見学がほとんど。VRで手を動かすことで外科の魅力に気づくこともある」。マネキンや模型では再現しきれない病態を設定して訓練できるのも、VR手術シミュレーターの利点という。

機器を立体パズルのように・・・

手術機器を展示するセンター内のミュージアムも仮想空間に再現。機器の特徴を学べるようウェブで公開中で、HMDで視聴できるシステムも開発中だ。

名大大学院の森健策教授（画像処理）の研究室は、仮想空間で機器などを立体パズルのように組み立てるアプリを開発。岐阜大も昨年度、医学生向けに人体の構造が学べるAR（拡張現実）アプリを開発した。医学生約60人を対象にした調査では、ARアプリで学んだグループは、従来のCT画像などで学んだグループより理解度、満足度も高かったという。実際のロボット支援下手術や内視鏡手術の映像に、手術手順に関する問題を加えた3D教育ツールも作成し、医学生の学びに役立っている。

コロナ禍で加速するDX

東海国立大学機構は20年、デジタル技術で教材や研究成果を広く社会と共有することをめざす「デジタルユニバーシティ構想」を掲げた。教育や研究、バックオフィスなどの分野でDX（デジタル化による変革）を進めるもので、VRの教育活用はこの一環だ。

教育へのデジタル技術の活用に詳しいデジタルハリウッド大学の佐藤昌宏教授・学長補佐は「若者のほとんどがデジタルネイティブ世代になり、少子高齢化で国としての効率化も必然となる中でDX化の動きが生まれ、コロナ禍で加速化した。これまで変わりにくいと言われてきた教育の分野でも変化が生まれつつある」と話す。

一方で、「先端技術を教育に活用する場合は単に導入するのではなく、それが効果的な学びにつながるかという視点を忘れないようにしなければならない」とも指摘。「VRは臨場感やシミュレーションが学びの鍵となってくる分野で親和性が高い」と話す。

先端技術だけでなく、スマートフォンのような身近なデジタル機器やアプリで教育効果を高める実践を重ねていくことも重要だという。（浦島千佳）

▼ **ご案内**

▶ [トップページ](#)

▶ [教授挨拶](#)

▶ [教室紹介](#)

▶ [診療内容](#)

▶ [外来担当表](#)

▶ [セカンドオピニオン](#)

▶ [研究課題](#)

▶ [臨床試験](#)

▶ [業績](#)

▶ [研修・入局案内](#)

▶ [関連病院紹介](#)

▶ [スタッフ紹介](#)

▶ **教室日記**

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)


▶ [寄付講座](#)


▶ [同門会](#)



 [岐阜大学医学部](#)

 [岐阜大学医学部附属病院](#)

 [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)

 [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [吉田和弘教授退官の日を迎えて。](#)

吉田和弘教授退官の日を迎えて。

投稿日：2022年4月1日（金）

令和4年3月31日にととう吉田和弘教授が退官の日を迎えられました。

当日朝に医局員全員集合し、吉田先生へのサプライズの花束贈呈を行いました。14年8か月の日々を思い出され、思わず目から涙をこぼされる場面もありました。



岐阜大学学長として今後のより一層のご活躍を切に祈念しております。今まで本当にありがとうございました。吉田和弘先生に負けずに我々医局員も一丸となって頑張ります。



- ◎ **ご案内**
- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

トップページ > 教室日記 > 令和3年度の岐阜大学附属病院 外科・乳腺外科・小児外科の送別会を行いました。

令和3年度の岐阜大学附属病院 外科・乳腺外科・小児外科の送別会を行いました。

投稿日：2022年3月29日（火）

令和3年度の岐阜大学附属病院 外科・乳腺外科・小児外科の送別会を行いました。ZOOM形式での開催でしたが参加者が60名を超える会となりました。

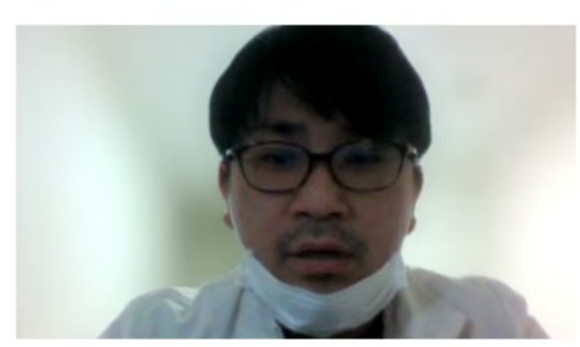
吉田和弘教授（東海国立大学機構 岐阜大学 学長就任）、加藤 久尚先生（京都田辺中央病院へ）、末次 智成先生（岐阜県総合医療センターへ）、間瀬 純一先生（岐阜県総合医療センターへ）

以上の皆さんが当教室から送別されました。

また外科病棟（西8階）師長 玉井小百合さんもこの4月で脳外科病棟へ異動されることになりました。

土井 潔教授より、開会のご挨拶と送別される先生方に対して贈るお言葉をいただきました。

各疾患チーフの先生方からも送別者の先生方にコメントをしていただきました。



送別者の皆さんから一言ずつご挨拶をいただきました。吉田和弘先生からは岐阜大学腫瘍外科教授に赴任されてからの14年8か月の大変多くの思い出をお話していただき、関わった方々への感謝のお言葉を述べられました。最後には岐阜大学附属病院に残られる先生方に対して良寛和尚の辞世の句と書かれている歌を紹介していただきました。



「散る桜 残る桜も 散る桜」

無常にも時間は止めることができません。ならばどう時間を過ごすのかを考えること。即ち、限られた「いのち」の中で、その結果に到るまでを如何に充実したものにし、悔いの残らないようにすることが大切である。

送別者の皆さん、大学病院でのご勤務をお疲れさまでした。

4月からそれぞれの新天地でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。また残される医局員は吉田和弘先生からいただいた言葉を大切にして引き続き教室の運営に尽力したいと思います。



▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 第13回 岐阜DIF研究会が開催されました。

第13回 岐阜DIF研究会が開催されました。

投稿日：2022年3月14日（月）

2022年3月11日に「第13回 岐阜DIF研究会」がWebにて開催されました。後半のSpecial Lecture IIでは岐阜大学大学院医学系研究科 高度先進外科学 教授 土井 潔先生に座長を務めて頂き、当科 吉田和弘教授より「胃癌治療のさらなる発展を目指して」を講演頂きました。



今回は吉田和弘教授の岐阜大学におけるあゆみとして、2007年着任から2022年退官までの素晴らしい仕事と今後の展望について御講演頂きました。

特に食道癌では縫合不全率0.5%、Bi-weekly DCFによるNAC、エレンタールによるNACの有害事象抑制など目を見張るような治療成績を、胃癌・大腸癌では腹腔鏡手術、ロボット手術の導入、また胃癌治療ガイドラインを変えるDS療法によるadjuvant therapy、conversion surgeryや臓器横断的なctDNA研究など、また肝胆膵外科では腹腔鏡下肝切除、乳癌におけるRFAなど、さらには多数の治験、臨床試験を主導頂くなど様々な功績、業績を改めて拝聴しました。

また教室においては多くの学位の指導を頂き、たくさんの大学院生が学位を取得することができました。

吉田教授に御指導頂いたことを医局員一同大変光栄に思います。16年間本当にありがとうございました。

[▲ページの先頭へ戻る](#)

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- ▶ [岐阜大学医学部](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 吉田 和弘教授の最終講義が開催されました。

吉田 和弘教授の最終講義が開催されました。

投稿日：2022年3月 7日 (月)

2022年3月4日に岐阜大学医学部記念会館にて吉田 和弘教授の最終講義が開催されました。講義の開始に先立ち岐阜大学医学部長の中島 茂先生からご挨拶をいただき、その後岐阜大学医学部 乳腺外科 教授より略歴のご紹介をしていただきました。



吉田 和弘教授には「Surgical Oncologistをめざすもの ～あつという間の14年8か月に感謝をこめて～」と題してご講演をいただきました。



はじめに吉田 和弘教授の経歴についてのお話をいただき、1984から2021年までの診療・研究・臨床研究における大変多くの業績を示していただきました。特に食道癌手術における非常に優れた臨床成果（縫合不全率0.5%の達成、Biweekly DCF療法の開発、粘膜障害に対する経腸栄養療法）と胃癌術後補助化学療法における新規標準療法の確立（S1+Docetaxel療法）をご紹介いただきました。また岐阜大学腫瘍外科学教授に就任されてからの医局運営において、大切にされてきたこともお話しいただき今の医局の礎になっていることが実感されました。



次に基礎研究において取り組んでこられた胃癌の発癌の機序の解明や5-FU耐性機序の解明など、非常に多くの研究業績についての解説していただきました。また吉田教授が就任されてから岐阜大学 連合創薬 赤尾 幸博教授、岐阜大学医学部 形態機能病理学 竹内 保教授をはじめとした素晴らしい先生方にご指導いただき多くの共同研究を行うことができました。その結果、恵まれた環境で基礎研究をすることができ39名の医局員が学位取得を達成することができました。

2018年に就任された岐阜大学医学部附属病院長としての取り組みについてもお話をいただきました。特に非常に大変であったCOVID-19パンデミック下の病院運営に関して講演いただきました。また東海国立大学機構としての将来展望をお話していただき、岐阜大学として岐阜県の発展に貢献したいという吉田教授の熱い気持ちが伝わってくる内容でした。



最後に4名の恩師の先生方を謝辞とともにご紹介していただき、Surgical Oncologistとして吉田教授が大切にされてきたことをお話いただきました。

当日は学内のみならず関連施設の先生方にもご参加をいただき、満席のなか大変素晴らしいご講演を拝聴することができました。



吉田和弘先生、長きにわたり腫瘍外科学講座にご尽力いただき大変お疲れ様でした。そして東海国立大学機構 岐阜大学学長へのご就任、誠におめでとうございます。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。



▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 岐阜の外科ZOOM説明会をしました。

岐阜の外科ZOOM説明会をしました。

投稿日：2022年3月 1日 (火)



2022年2月28日(月)19時から、岐阜大学の医学生、関連施設の研修医・専攻医を対象とした『岐阜の外科ZOOM説明会』を開催しました。

外科は「大変そう」、「器用じゃないと無理」、「自分には向いていない」と考えている医学生が多くいます。しかし我々は美しい手術に憧れ、外科に「誘惑」されて外科医になりました。今回は若手外科医が没入する、岐阜の外科の「魅力」にスポットライトをあてた、一風変わった内容で企画しました。

総合司会を佐藤悠太が務め、岐阜市民病院より鷹羽律紀先生、岐阜大学より大野慎也先生、林弘賢先生、多治見市民病院から畑中勇治先生に講演を頂きました。開会挨拶を土井潔教授より、閉会挨拶を奥村直樹先生より頂きました。合計85名の皆様に御参加いただき大盛況で終幕しました。参加してくれた若者の感性を少しでもくすぐり、将来共に岐阜の外科を盛り上げる仲間が増えればよいなと考えております。

各施設の先生方には大変お世話に成りました。誠にありがとうございました。

▲ページの先頭へ戻る

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 鼠径ヘルニアカダバー・トレーニングに参加して。

鼠径ヘルニアカダバー・トレーニングに参加して。

投稿日：2022年2月17日（木）

東海国立大学病院機構CSTネットワーク事業
課題解決型高度医療人材養成プログラム

**第2回 鼠径ヘルニア
カダバートレーニング**

日時 2022. **2.11.** Fri 9:30-15:45

場所 浜松医科大学 講義実習棟 解剖学実習室

<p>コースディレクター</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>竹内裕也先生 <small>浜松医科大学 外科学第二講座 教授</small></p> </div> </div>	<p>講師</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div> <p>和田英俊先生 <small>島田市立総合医療センター 病院長</small></p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>佐藤正範先生 <small>浜松医科大学 一般外科 病院講師</small></p> </div> </div>
--	---

募集人数 現地受講 4名(2名/1献体予定)
 遠隔受講 何名でも可
※CSTネットワーク事業関連大学の大学院生を優先

目的 ① 鼠径ヘルニア腹腔鏡下手術の手技トレーニング
 ② 鼠径部の膜（横筋筋膜）解剖理解

実施項目 1) TAPP法手術手技講義 [20min]
 2) 第1回のまとめ講義 [20min]
 3) TAPP法手術模擬（左右順番で） [240 min]

 外科学第一講座
外科学第二講座
解剖学実習室

2022年2月11日に東海国立大学病院機構CSTネットワーク事業の一環として、浜松医科大学で開催されたカダバー・トレーニング（鼠径ヘルニア腹腔鏡下手術の手技トレーニング）に参加させていただきました。

コースディレクターとして浜松医科大学外科学第二講座教授竹内裕也先生をはじめ、講師として島田市立総合医療センター病院長和田英俊先生、浜松医科大学一般外科病院講師佐藤正範先生のもとで開催されました。当院からは安福至先生、林弘賢先生、大野慎也先生が参加しました。

本トレーニングのテーマとして「鼠径部関連神経(陰部大腿神経・外側大腿皮神経)の走行の確認」、「鼠径部膜解剖(Iliopubic tract~横筋筋膜)」がありました。通常の手術手技に加え、出血や慢性疼痛の原因となる隠れた解剖を勉強することができ大変有意義なトレーニングとなりました。またカダバー・トレーニングの実際の運用方法、CSTネットワーク事業についても多くの話を聞かせていただき大変勉強になりました。今後は岐阜大学でのカダバー・トレーニングの運用に向けて今回の経験を活かしていきたいと思っております。

今回我々にこのような貴重な機会を与えて頂きました事、吉田和弘教授、医局、同門の先生方には深く感謝申し上げます。

▲ページの先頭へ戻る

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 「Gastric Cancer Web Conference in Gifu」が開催されました。

「Gastric Cancer Web Conference in Gifu」が開催されました。

投稿日：2022年2月 1日 (火)

2020年1月28日に「Gastric Cancer Web Conference in Gifu」がWebにて開催されました。

前半の特別講演では吉田和弘教授に座長を務めて頂き、岐阜大学医学部附属病院・がんセンター准教授 牧山明資先生より「一次治療ICIと後治療サムライザ併用療法への期待」を講演頂きました。



一次治療としてICIが承認され胃癌治療が大きく変化するなか、CM-649試験に関する新しいエビデンスから解釈まで丁寧に解説して頂きました。また、どのようにCPSを実臨床に活かしていくかについても非常に勉強になりました。ICI後のRAM+weekly PTXやRAM+CPT-11等の有効性についても分かりやすく説明して頂き、明日からの臨床にいきる非常に貴重な講演でありました。

後半は牧山明資先生に司会を務めて頂き、ディスカッションを行いました。プレゼンターとして岐阜大学医学部附属病院 消化器外科 特任准教授 奥村直樹先生、岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部 講師 井深貴士先生より症例提示をして頂きました。2例とも非常に示唆に富む症例であり、各施設の消化器内科/外科の先生方から実際に生じた問題点・疑問点をに関して、濃密なディスカッションが行われました。今後の適切なレジメンの選択に関して非常に勉強になる実りの多い講演会でありました。



ご講演・座長をお努め頂いた先生方誠に有難うございました。

謝辞
ご多忙の中、御講演いただき誠にありがとうございました。大変貴重な機会となり医局一同、心より感謝申し上げます。

▲ページの先頭へ戻る